

個別支援の進め方

1. 目的

参加自治体の地域特性や方向性に応じた具体的な施策・事業の形成を支援するため、参加自治体の各々の方向性と検討進捗レベルに即し、個別具体的な企画案及び資料等の作成支援、施策検討の方向性に合わせて整理した情報の提供を行うことを目的としている。

支援は、希望する自治体についてのみ実施することとする。

2. 実施概要

個別支援は全4回を予定しており、研究会と研究会の間のタイミングで開催する。参加を希望する自治体が多い場合は、昨年度までと同様、グループ単位で行う。

グループには、主担当と副担当を配置し、個別支援の進行や成果のとりまとめを行う。

個別支援に関するご相談、調整等は、下記の窓口にて対応する。

個別支援における窓口	建設技術研究所 東京本社 地球環境センター 種浦・市川 Tel: 03-3668-0398 E-mail: all62_sc@ctie.co.jp (再生可能エネルギーとスマートコミュニティ事務局)
------------	---

表 2-1 個別支援の実施計画

段 階		時 期	備 考
支援方法の検討		第1回研究会 (6月18日)	・研究会で把握した各自治体の意向や議論の結果を踏まえ、事務局で調整。
支援方法の通達 参加確認 希望するテーマの確認		6月下旬	・メールによる案内
グループ編成		7月上旬	・協議会と委託業者（建設技術研究所）の協議のうえ、決定 ・決定後、メールで案内
個別支援の 実施	1回目	7月下旬～8月	・グループ単位で実施
	2回目	9月	・グループ単位で実施
	3回目	11月	・グループ単位で実施
	4回目	1月	・グループ単位で実施

3. 実施内容

個別支援の進め方および内容について、以下の2案を検討している。

【案1】テーマ設定型

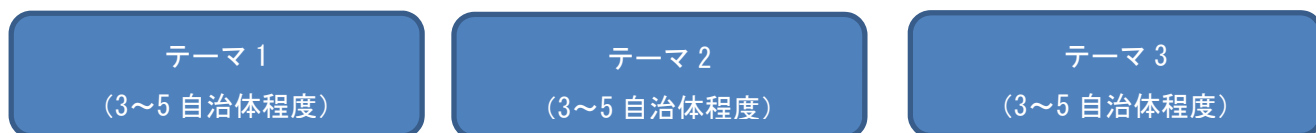
事務局が設定したテーマに対して希望する自治体が参加し、テーマごとに支援する。

【案2】個別課題対応型

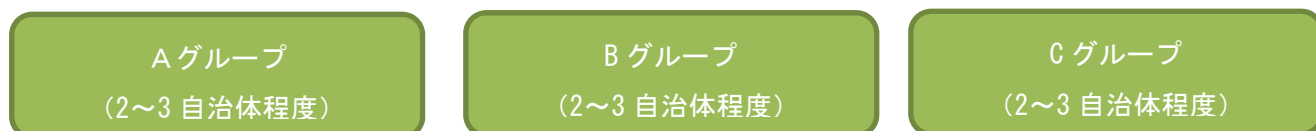
平成24・25年度と同様に、個別支援を希望する自治体に対して、その自治体が希望するテーマで支援。

基本的にはいずれか一方による実施を想定しているが、参加自治体の意向に応じて、案1と案2の両方で実施する場合もある。以下に実施方法の例を示す。

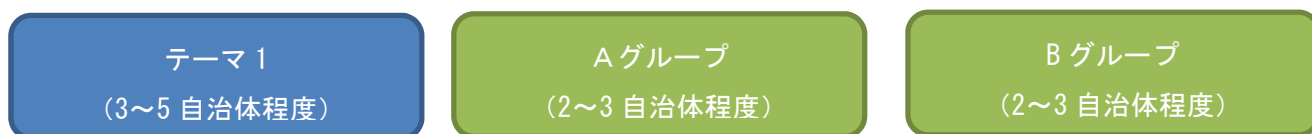
【案1】で実施する場合（3テーマ程度）



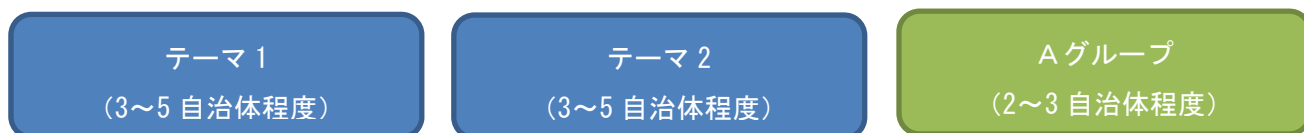
【案2】で実施する場合（3~4グループ程度）



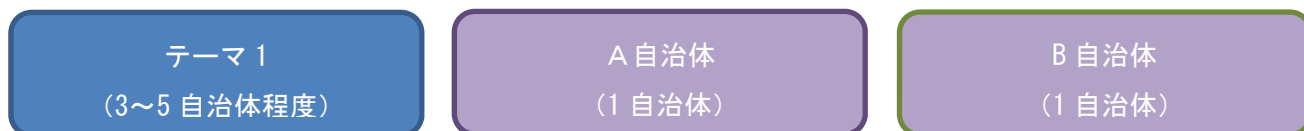
【案1と案2】で実施する場合（ケース1）



【案1と案2】で実施する場合（ケース2）



【案1と案2】で実施する場合（ケース3）



【案1】テーマ設定型

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事務局が設定したテーマに対して希望する自治体が参加し、テーマごとに支援。 参加自治体が共有可能な3テーマ前後を想定しており、テーマの内容は自治体の要望の多いものを優先して事務局が選定。 外部スピーカーからの情報提供や意見交換を通してテーマに対する知見を深めながら、各自治体における具体的な場所や施設を想定して、導入条件（または実施条件）や事業費、事業実施上の課題や留意点などを最終成果として整理。
<p>進め方</p>	<p>【第1回】テーマに関する基礎知見の取得 テーマに関連した外部スピーカー（民間事業者等）を招き、情報提供と意見交換会を予定。第3回以降で具体的に検討していく「事業の内容」や「システムの内容」などを設定。</p> <p>【第2回】事業に関する各種条件等の把握とモデル事業の設定 事業の実施条件やシステムの導入条件等を整理。 個別支援で検討するモデル事業の実施場所や施設、事業内容の設定。</p> <p>【第3回】事業のコスト及び経済性評価等 事業やシステムの概算費用および経済性評価の実施 事業やシステムの課題、留意事項の整理</p> <p>【第4回】取りまとめ 最終成果（モデル事業計画（案）と各自治体への導入イメージ）の確認</p> <p>留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 第1回は、グループに参加する自治体以外からの参加も受け入れる予定。 ※ 当該グループに所属する自治体のみ、全部の回において本研究会の参加部署以外の部署からの参加も認める予定。
<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事例等を通じたテーマの基礎知見の取得 参加自治体で共有可能なモデル事業に関する事業計画（案） モデル事業の参加自治体への導入イメージ
<p>テーマの例</p>	<p>（例1）BEMSの導入 主に、公共施設等へのBEMS導入や、民間事業者によるBEMS導入支援の在り方等について検討。</p> <p>（例2）スマートモビリティの活用 電気自動車や超小型モビリティ、燃料電池車など活用方策（シェアリング事業、緊急時の活用など）について検討。</p> <p>（例3）エネルギーの面的利用の推進 複数の建物間でのエネルギー供給設備の共有や、熱の融通、地域全体でのエネルギーマネジメントなど、公共施設群や再開発地区等におけるエネルギーの面的利用の推進方策について検討。</p> <p>（例4）スマートハウスの導入促進 一戸建てやマンションの「スマートハウス」の動向を整理し、自治体としての導入支援策や家庭部門のCO₂削減方策を検討。</p>

【案 2】 個別課題対応型

<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別支援を希望する自治体に対して、その自治体が希望するテーマで支援。 ・ 基本的には、平成 24・25 年度と同様の方法。 ・ 前年度から継続的に参加する自治体について、テーマは継続でも新規でも可とする。 ・ 1 グループ 2～3 自治体とし、事務局が地理的条件やテーマの類似性からグループ分けを実施。 ・ 最終成果は、予算要求資料として活用できる形式で整理。
<p>進め方</p>	<p>【第 1 回】 支援の内容および進め方の整理 具体的な検討内容や、検討の進め方を議論。 類似事例に関する情報の提供。 検討に必要なデータ等の抽出。</p> <p>【第 2 回】 検討を進める事業内容の整理 各自治体から提供されたデータの解析結果等の報告。 事業やシステムの内容やスキーム等を整理。</p> <p>【第 3 回】 事業計画（案）の策定と経済性評価の実施 事業やシステムの概算費用および経済性評価の実施 事業やシステムの課題、留意事項の整理</p> <p>【第 4 回】 予算要求資料の作成 最終成果（予算要求にも活用可能な資料）の確認</p> <p>留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 原則、研究会に参加登録している部署のみからの参加とする。 ※ ただし、最終成果として作成する予算要求資料について、次年度に提出する予定がある場合については、関連部署からの参加も認める予定。
<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各自治体が抱える課題に対応した事業計画（案） ・ 事業（テーマ）に関連した予算要求資料（案） ・ 研究テーマに関する知見の取得
<p>テーマの例 （昨年度 の事例）</p>	<p>（事例 1） 非常時（災害時）の公共施設の電源確保化 （事例 2） 高齢者雇用のための植物工場事業 （事例 3） 戸建住宅地への地域エネルギーマネジメント導入 （事例 4） 電気自動車・小型モビリティのシェアリングによる交通動線強化 （事例 5） コージェネレーションシステムによる複数施設への電力供給事業 （事例 6） BEMS 導入による電気代削減効果の検討 （事例 7） 学校屋根貸しの導入可能性調査 （事例 8） 高効率エネルギー利用の集合住宅の検討 （事例 9） 屋根貸し事業とエコポイントの連携手法</p> <p>※ 詳細は各自治体に配布されている「平成 25 年度再生可能エネルギーとスマートコミュニティ研究 報告書（概要版）」を参照。</p>